

LPガス自家スタンド設置 ケイテック 酒田市と災害協定

LPガスとガソリンのハイブリッド車改造メーカー

調印書を掲げるケイテックの小松社長（右）と丸山・山形県酒田市長（10月30日、酒田市）



ケイテック（山形県酒田市、小松豊社長）は、エールピーガス振興センターの災害用バルク（タンク）補助金を受け、同社敷地内にカクレーパーテック製のLPガス簡易自家スタンド「オートコンボ」を設置する。来年1月から稼働する予定。

これに伴い、災害時にLPガスを使って発電する災害協定を10月30日、酒田と締結した。

調印式で小松社長は「酒田から新しいエネルギーのあり方を提案していく」と意気込みを語った。丸山至市長は「市民のために活用する。今後も安全・安心に貢献してほしい」と謝辞を述べた。

協定では、ケイテックは市の要請に応じて①バルク貯槽内のLPガス②LPガス発電機③非常用照明④炊飯器用ガスコンセント⑤LPガスハイブリッド車（普通車、バン）5台を提供する。

現在、市内にLPガススタンドは1カ所のみ。同社はLPガス車を日常的に利用する企業やタクシーのために燃料を安定供給したいと考え、災害時に貢献できる自家スタンドの導入に至った。1日40〜50台分を充てんできる。

酒田市は公用車2台にLPガス車を採用している。ガソリン車に比べ燃料コストが低く、供給も安定していると判断した。

11月20日 東京交通新聞